

【單元目標・單元觀】

2 年

【單元目標】

乗法の意味について理解を深め、計算の意味や計算の仕方を考えたり乗法に関して成り立つ性質やきまりを見いだしたりする力を養うとともに、計算方法など数学的表現を用いて考えた過程を振り返り、そのよさに気づき今後の生活や学習に活用しようとする態度を養う。

【單元觀】

本単元では、前単元に続いて、乗法が用いられる場面を通して、乗法の意味について理解させ、この意味に基づいて乗法九九を構成したり、その過程で乗法九九について成り立つ性質に着目したりするなどして乗法九九を身につけることをねらいとしている。九九を一通り構成した後で、倍の意味を深める学習や九九表からきまりを見つけてまとめ、さらに、見つけたきまりを使って簡単な場合の2位数と1位数の乗法の仕方を考えさせる学習にも取り組ませる。そして最後には、乗法九九を総合的に活用して色々な問題を解決できるようにしていくことも目指している。

【児童の実態】（全国学力・学習状況調査結果・標準学力調査結果）

本学級の児童は、与えられた課題に最後まで一生懸命取り組んだり、友達と協力して学習を進めたりすることができる。しかし、複式学級が今年度からのスタートということもあり、複式授業のスタンダードの定着が十分とは言えない。さらに、意見交流など意欲的に取り組むことができるが、ただの意見の伝え合いだけになってしまい、練り合いや意見の比較までにはいたっていない。

【指導觀】

指導にあたっては、数量の関係に着目し、乗法について成り立つ性質やきまりを用いて6、7、8、9、1の段の九九の構成の仕方を考えていく。その際、言葉や式、アレイ図などを使って表現できるようにする。第2小単元以降では、今まで活用してきた乗法の性質やきまりを振り返ってまとめるとともに、簡単な場合の2位数と1位数の乗法の計算を学習する。乗法の性質やきまりを言葉や式でまとめることで、それぞれの段の九九で発見したことをより一般化して捉えさせるとともに、乗法の理解を確実にしたい。第3小単元では、テープの長さを素材に「倍」についての学習に取り組ませる。その際、同じ「〇倍」であっても、基準量が変わると比較量が変わることに気付かせたい。まとめでは、乗法九九を総合的に活用させたり、他の場面で問題を解決させたりしていく。前の問題場面で働かせた数学的な見方・考え方を生かして問題解決への考え方を広げられるようにしていきたい。

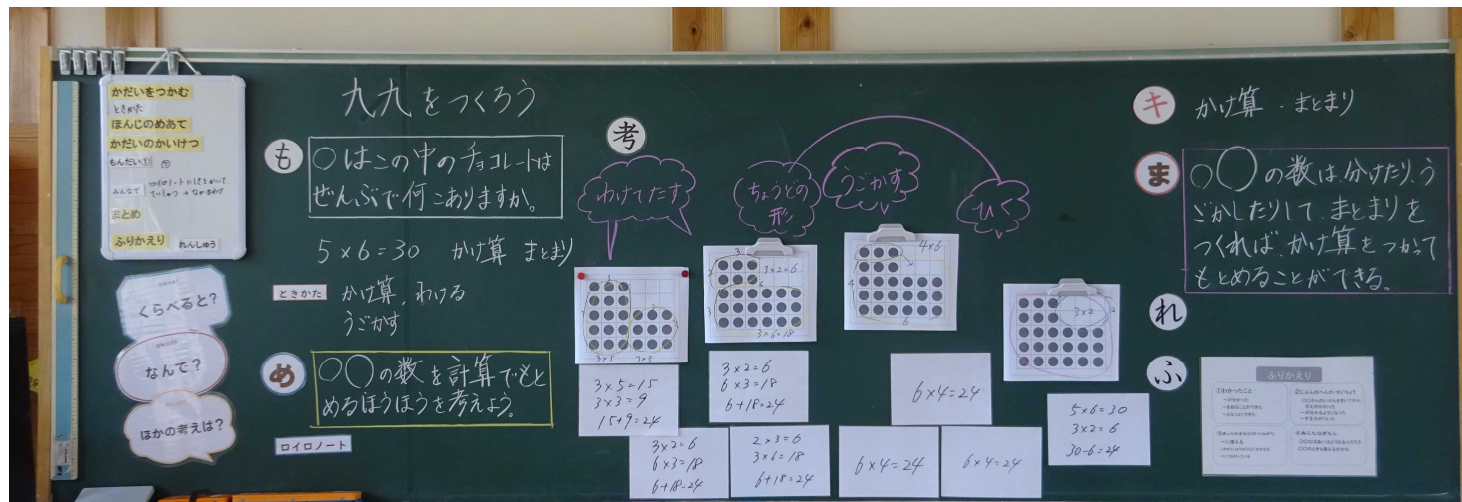
本時の学習では今まで学習してきた乗法九九を総合的に活用し、具体的な場面の問題に適用することを通して、九九の理解をさらに深めていく。前時に、身の回りにあるものをかけ算で表わす活動を取り入れ、同じ数のまとまりに着目すれば乗法の式を使って総数を求められることを理解させる。そして本時では、この考えをもとに、動かしたり、分けたり、工夫してまとまりをつくれば、同じように乗法九九を適用して問題解決出来ることに気付かせたい。また、図や式で表し、児童が必要に応じて友達同士でも話し合えるような場を選択できるようにする。その際、クラウドを活用することで、全員が積極的に参加できるようにするとともに、多様な考え方で求めることができることの楽しさを味わわせたい。

指導にあたっては、既習の単位の学習に着目して体積や長さの端数部分の表し方を考えながら、小数の意味や表し方、数としての小数について学習する。日常でよく目にする小数に関する経験を想起させ、小数についての関心や学習意欲を高めたい。第2小単元では、既習の整数の仕組みを基に、小数の仕組みや大小関係に着目する。その際、小数の仕組みは、整数の仕組みと同じような仕組みであることに気付かせたい。第3小単元では、小数の仕組みに着目し、小数第一位同士の小数の加減計算やその筆算の方法を考える。小数の計算ではあるが、「0.1の何個分」と見る見方・考え方によって、整数の計算に帰着できることに気付かせるよう指導したい。第4小単元では、整数について様々な見方をしたことを基に、小数について数直線や式などを使って多様な見方や表す方法を考える。小数は整数と同じように多面的に見ることができることと、仕組みが同じであることを再度おさえたい。まとめでは、これまで学習したことを活用して、具体的な問題場面を解決していく。この活動を通して、日常生活でも小数を活用していこうとする態度を養いたい。

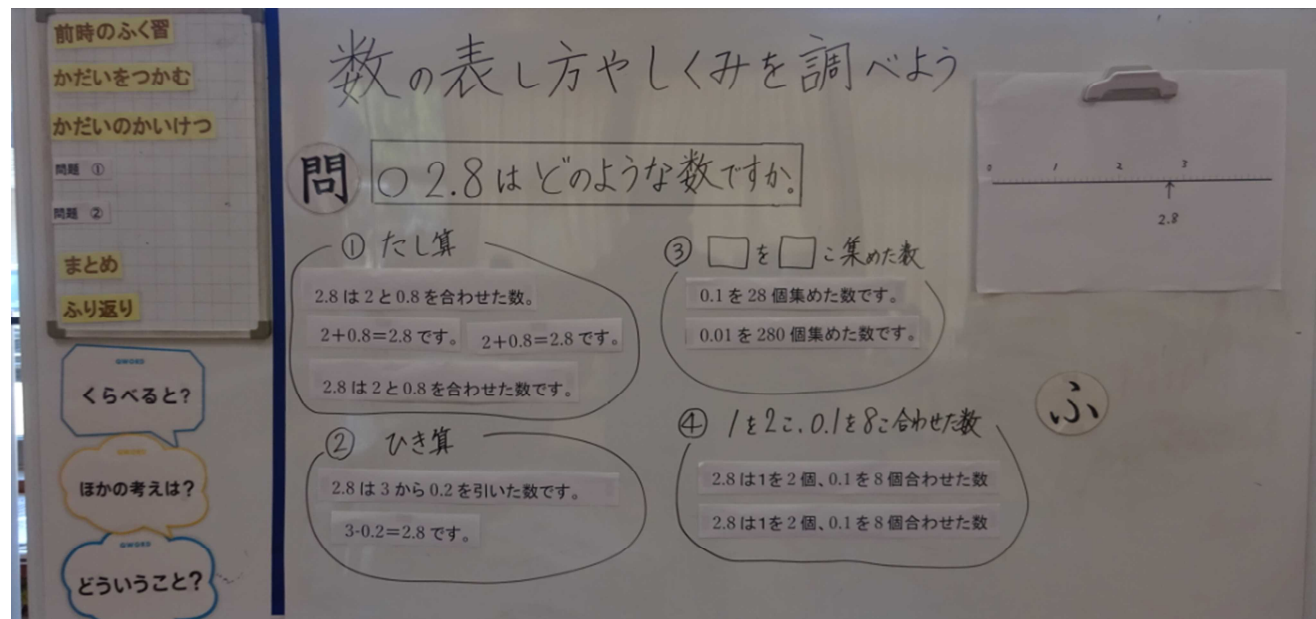
本時の学習では、2.8について、数直線や式など様々な方法を用いて、多様な表し方（相対的な表し方や基にする数の何個分か、既習の整数の仕組みなど）を考えさせ、全体で共有し、仲間分けをする。その際、2.8の表し方については家庭で考えさせておき、その後の活動にスムーズに移行できるようにする（授業と授業外学習のシームレス化）。そして、全員で共有した視点を基に、自分たちで類似問題を作成していく。スプレッドシートを使うことで、他者参照や協働しながら問題を解決する姿を期待したい。

板書計画

2 年



3 年



【単元構想表】

2年 単元で付けたい力 A（3）乗法　ア（ア）乗法の意味を理解し、それが用いられる場合について知ること。 （イ）乗法が用いられる場面を式に表したり、式を読み取ったりすること。 （ウ）乗法に関して成り立つ簡単な性質について理解すること。 （エ）乗法九九について知り、１位数と１位数との乗法の計算が確実にできること。 （オ）簡単な場合について、２位数と１位数との乗法の計算の仕方を知ること。 イ（ア）数量の関係に着目し、計算の意味や計算の仕方を考えたり計算に関して成り立つ性質を見いだしたりするとともに、その性質を活用して、計算を工夫したり計算の確かめをしたりすること。 （イ）数量の関係に着目し、計算を日常に生かすこと。 （学び）数量に進んで関わり、数学的に表現・処理したことを振り返り、数理的な処理のよさに気づき生活や学習に活用しようとする態度を養う。						
【評価規準】 <知識・技能> ①乗法は、一つ分の大きさが決まっているときに、その幾つ分かに当たる大きさを求める場合に用いられるなど、乗法の意味について理解し、それが用いられる場合について知っている。 ②乗法は累加で答えを求めることができることを理解している。 ③乗法が用いられる場面を式に表したり、式を読み取ったりすることができる。 ④交換法則など乗法に関して成り立つ簡単な性質を図を用いて理解している。 ⑤乗法九九について知り、１位数と１位数との乗法の計算が確実にできる。 ⑥簡単な場合について、２位数と１位数との乗法の計算の仕方を知っている。 <思考・判断・表現> ①乗法が用いられる場面を、具体物や図などを用いて考え、式に表したり、乗法の式を、具体的な場面に結びつけて捉えたりしている。 ②計算の仕方を振り返り、乗法に関して成り立つ簡単な性質を見いだしたり、それを基に乗法を構成したりしている。 ③日常生活の問題や算数の問題、情報過多の問題、算数以外の教科等の問題などを、乗法を活用して解決している。 ④既習の乗法やその構成の方法を基に、簡単な場合について、２位数と１位数の乗法の計算の仕方を考えている。 <主体的に学習に取り組む態度> ①累加の簡潔な表現としての乗法のよさに気づき、ものの総数を乗法を用いて表そうとしている。 ②一つ分の大きさが決まっているときに、その幾つ分かに当たる大きさを求める場合に、乗法を用いるとその総数を簡潔に求めることができるというよさに気づき、乗法の場面を身の回りから見付け、乗法を用いようとしている。 ③累加や乗法に関して成り立つ簡単な性質を用いるなどして、乗法九九を構成しようとしている。 ④簡単な場合について、２位数と１位数との乗法の計算の仕方を発展的に考えようとしている。						
時	めあて・課題	学習内容・流れ	まとめ・ゴールの姿	評価規準	児童・生徒から引き出したい振り返り	教員の振り返り（授業後）
1	6の段の九九のつくり方を考えよう。	・6の段の九九の構成の仕方について考える。	6の段の九九も今までと同じ方法でつくることができる。	【知①②】【主①】	6の段のかけ算も、3の段や4の段の時と同じように「□（6）ずつ増える」というきまりがあったので、その方法を使えば、6の段の九九ができました。	
2 3	6の段の九九を見直して気がついたことを説明しよう。	・6の段の練習をする。 ・6の段の九九を見直し、九九表やアレイ図などを基にして、交換法則や分配法則が成り立っていることを確認する。 ・6の段の九九を用いて問題解決する。	6の段でもかけられる数とかける数が反対になっても答えは同じになる。6を4と2に分けて2つのかけ算で考えることもできる。	【知③④】【思①】	6×4は4×6と答えが同じだと分かりました。6×3は、4×3と2×3を足した数になると分かりました。他にもきまりを探してみたいです。また、他の段でも、できそうだと思います。	
4	7の段の九九のつくり方を考えよう。	・7の段の九九の構成の仕方について考える。	7の段の九九も今までと同じ方法でつくることができる。	【知①②】【主①】	7の段のかけ算も、6の段と同じように「□（7）ずつ増える」というきまりがあったので、その方法を使えば、6の段の九九ができました。この方法を使えば、8の段や9の段もつくれると思います。	
5 6	7の段の九九を見直して気がついたことを説明しよう。	・7の段の練習をする。 ・7の段の九九を見直し、九九表やアレイ図などを基にして、交換法則や分配法則が成り立っていることを確認する。 ・7の段の九九を用いて問題解決する。	7の段でもかけられる数とかける数が反対になっても答えは同じになる。7を4と3に分けて2つのかけ算で考えることもできる。	【知③④】【思①】	7の段のかけ算を見なおすと、かけられる数とかける数をいれかえても答えは同じということが分かりました。また、7の段は2の段と5の段を合わせた数になると分かりました。	
7	8の段の九九のつくり方を考えよう。	・8の段の九九の構成の仕方について考える。	8の段の九九も今までと同じ方法でつくることができる。	【知①②】【主①】	8の段の九九もこれまで見つけてきた決まりを使えば、同じようにつくれると分かりました。9の段も同じ方法でつくれると思います。	
8	8の段の九九を見直して気がついたことを説明しよう。	・8の段の練習をする。 ・8の段の九九を用いて問題解決する。	8の段でも、かけられる数とかける数が反対になっても答えは同じで、8を分けて2つのかけ算で考えることができる。	【知③④】【思①】	8の段のかけ算を見なおすと、かけられる数とかける数をいれかえても答えは同じということが分かりました。また、8の段は3の段と5の段を合わせた数になると分かりました。9の段も同じようにできそうです。	
9	9の段の九九のつくり方を考えよう。	・9の段の九九の構成の仕方について考える。	9の段の九九も今までと同じ方法でつくることができる。	【知①②】【主①】	これまでの学習を使えば、9の段の九九がつくれると分かりました。	

1 0	9の段の九九を見直して気がついたことを説明しよう。	・9の段の練習をする。 ・9の段の九九を用いて問題解決する。	9の段でも、かけられる数とかける数が反対になっても答えは同じで、8を分けて2つのかけ算で考えることができる。	【知③④】【思①】	9の段のかけ算を見なおすと、かけられる数とかける数をいれかえても答えは同じということが分かりました。また、9の段は4の段と5の段を合わせた数になると分かりました。	
1 1	1のだんの九九のつくり方を考えよう。	・場面を捉え、1の段のかけ算の意味を確かめる。 ・1の段の練習をする。	1の段の九九も今までと同じ方法でつくることができる。	【知①②③】	1の段もこれまでと同じようにきまりを使えば、できると分かりました。1の段は答えがそのままかける数になっているので計算が簡単で、すぐに覚えられそうです。	
1 2	かけ算のきまりをまとめよう。	・九九表を見て、これまでの九九の構成に用いた乗数と積の関係や、乗法の交換法則、分配法則について確認する。	今までみつけたかけ算のきまりは、どの段でも同じように使える。	【知⑤】【思②】【主③】	かける数が1増えると、答えはかけられる数だけ増えると分かりました。また、かける数とかけられる数を入れ替えて計算しても答えは同じになるというきまりも、どの段でも言えることだということが分かりました。九九表を見ると、同じ答えがななめに並んでいました。	
1 3	九九の表を広げよう。	・九九表を基に、学習してきた性質やきまりを用いて、被乗数が2位数のかけ算の答えの求め方を考える。	今までみつけた決まりを使えば、9より大きいかけ算の答えも求めることができる。	【知⑥】【思④】【主④】	これまで学習したかけ算のきまりを使えば、9より大きい数の計算も求めることができると分かりました。みつけたきまりを使って10の段や11の段もつくってみたいです。	
1 4	倍について考えよう。	・○cmの4倍の長さをかけ算を使って求める。 ・2つのテープを見て、何倍になっているか考える。	4倍の長さは×4で表すことができる。かけられる数が違えば、同じ数でかけたとしても、答えがちがう。	【知③】【主②】	倍について考えることができました。○の□倍の大きさを求めるときはかけ算になると分かりました。	
1 5	身の回りからかけ算で表せるものを見つけよう。	・ロッカーの数や教室のゆかのタイルなど、身の回りにあるものをかけ算で求める。	身の回りには、かけ算で表せるものがたくさんある。	【思③】	身の回りには、かけ算で表せるものが、たくさんあると分かりました。自分たちが使っているロッカーも、上に4こ、横に8こあり、4×8で全部の数が簡単に求めることができると分かりました。	
1 6	○の数を計算で求める方法を考えよう。(本時)	・チョコレートの数(へこんだ形)のいろいろな求め方を、図を用いて考える。	○の数は、分けたり移動したりすれば、かけ算を使って求めることができる。	【思③】	●の数は、分けたり動かしたりして、同じ数のまとまりをつくれかけ算を使って表すことができると分かりました。友達の○○な考えが自分と違っていて良いなと思いました。	
1 7 1 8	学習のたしかめをしよう。	・「たしかめよう」に取り組む。 ・「つないでいこう 算数の目」に取り組む。	乗法の性質やきまりを使えば、身の回りにある倍に関する問題を解決できる。	【思③】		

単元ゴールの姿：

<知識・技能>

- ・1位数と1位数との乗法の計算が確実にできる。
- ・乗法が用いられる場面を式に表したり、式を読み取ったりすることができる。
- ・乗法の交換法則や分配法則などを理解することができる。

<思考・判断・表現>

- ・乗法が用いられる場面を式に表し、立式した理由を、根拠を示しながら説明することができる。
- ・見つけたきまりをもとに、11の段や12の段など、2位数と1位数の乗法の計算の仕方を考えることができる。

<主体的に学習に取り組む態度>

- ・乗法を用いることで、総数を簡潔に求めることができるというよさに気付くことができる。
- ・乗法のよさに気付き、進んで生活や学習に生かそうとしている。

3年 単元で付けたい力 A（5）小数 ア（ア）端数部分の大きさを表すのに小数を用いることを知ること。また、小数の表し方及び1/10の位について知ること。 （イ）1/10の位までの小数の加法及び減法の意味について理解し、それらの計算ができることを知ること。 イ（ア）数のまとまりに着目し、小数でも数の大きさを比べたり計算したりできるかどうかを考えるとともに、小数を日常生活に生かすこと。 （学び）数量に進んで関わり、数学的に表現・処理したことを振り返り数理的な処理のよさに気付き生活や学習に活用しようとする態度を養う。						
<知識・技能> ①端数部分を表すのに小数を用いることを知っている。 ②小数の表し方及び1/10の位について知っている。 ③量を測定する単位の構成が、十進構造になっていることについて理解している。 ④1/10の位までの小数の加法及び減法の意味について理解し、それらの計算ができることを知っている。 <思考・判断・表現> ①小数の大きさについて、図や数直線を用いて表したり、0.1の幾つ分かを考えたりして、大きさを比べたり、小数の加法及び減法の計算の仕方を考えたりしている。 ②小数やその計算が日常生活にも使えることに気付いている。 <主体的に学習に取り組む態度> ①小数でも数の大きさを比べたり、計算したりできるかどうか考えたことを振り返り、0.1の幾つ分と見ることで整数と同じ見方ができることに気付き、次の学習に活用しようとしている。 ②端数部分の大きさを表すことができるというよさに気付き、身の回りから、小数が用いられる場面を見付けようとしている。						
時	めあて・課題	学習内容・流れ	まとめ・ゴールの姿	評価規準	児童・生徒から引き出したい振り返り	教員の振り返り（授業後）
1 2	1 Lより少ないかさを、Lで表す方法を考えよう。	・1 Lより少ないかさの表し方を考える。 ・1.3 Lや0.3 Lなど端数部分のかさの表し方を知る。 ・用語「小数」「小数点」「整数」を知る。	小数を使えば半端な量があってもLで表すことができる。	【知①③】	1 Lより少ないかさは、0.1 Lをもとにして0.1 Lが何個分あるかで表すことができると分かりました。2年生の時学習した100より大きい数と似ていると思いました。	
					1.3や0.8のような数字を「小数」、「.」を「小数点」、0、1、2、3のような数字を「整数」ということが分かりました。	
3	1cmより短い長さをcmで表す方法を考えよう。	・長さについて小数を使った単名数の表し方を考える。	1cmより短い長さは、1cmを10等分した1個分の長さ0.1 cmが何個分あるかで表すことができる。	【知①③】【主②】	1 cmより短い長さを小数にすることで、長さも水のかさと同じように1つの単位で表すことができると分かりました。	
4	小数を数直線で表す方法について考えよう。	・数直線に表された小数を読んだり、数直線に小数を表したりする。 ・小数の相対的な大きさについて考える。	一番小さい目盛りを0.1とすると、小数も整数と同じように、数直線で表すことができる。	【思①】	一番小さい目盛りを0.1にすると、小数も整数と同じように数直線で表すことができると分かりました。数直線を使うと、小数の大きさが0.1の何個分なのかよく分かりました。	
5	小数の位について調べよう。	・147.2の構成について考える。 ・用語「小数第一位」を知る。	147.2の2は、整数の位と同じように、0.1が2個あることを表わしている。	【知②】	小数も整数と同じように位の表に表すことができると分かりました。147.2の2は0.1が2個あるということが分かりました。	
6	小数の大きさの比べ方を考えよう。	・小数の大小関係を考える。	小数も整数と同じように、数直線や位の表を使うと数の大きさを比べることができる。また、上の位から同じ位同士の数字の大きさを比べても良い。	【思①】【主①】	小数も整数と同じように、数直線を使ったり、数の仕組みに着目したりすると、数の大きさを比べることができると分かりました。上の位から比べるとすぐに答えが分かると思いました。	
7	小数の足し算の仕方について考えよう。	・小数の足し算について考える。	0.1をもとにして考えると簡単な整数で計算できる。	【知④】【思①②】	0.1をもとにすると整数のときと同じように計算できると分かりました。30+20と計算の仕方が同じだと思いました。	
8	小数の引き算の計算の仕方について考えよう。	・小数の引き算について考える。	足し算のときと同じように、0.1をもとにして考えると簡単な整数で計算できる。	【知④】【思①②】	0.1をもとにすると整数のときと同じように計算できると分かりました。50－20と計算の仕方が同じだと思いました。	
9	小数の筆算の仕方について考えよう。	・筆算を用いた小数の計算について考える。	0.1をもとにして考えると整数の筆算と同じように計算できる。	【知④】【主①】	整数の筆算と同じように計算できると分かりました。整数の時と同じように位をそろえて書いていきたいです。小数点を忘れないようにしたいです。	
10	様々な小数を、いろいろな見方で表してみよう。（本時）	・小数を数直線などに表し、いろいろな見方・表し方で考える。	小数は整数と仕組みが同じなので、同じような見方ができる。	【思①】	小数は整数と仕組みが同じなので、同じような見方ができると分かりました。たとえば、0.1が何個分かや足し算や引き算で表すことができると分かりました。	
11 12	学習のたしかめをしよう。	・「たしかめよう」に取り組む。 ・「つないでいこう 算数の目」に取り組む。	小数のきまりや計算を使えば、身の回りにある小数に関する問題を解決できる。	【思②】【主②】		

単元ゴールの姿：

＜知識・技能＞

- ・端数部分のあるものを、小数を使って表すことができる。
- ・数直線上の小数を読むことができる。
- ・小数の大小関係を比較することができる。
- ・小数第一位同士までの小数の加減法の計算及びその筆算を確実にできる。

＜思考・判断・表現＞

- ・小数の各位の数字が何を表しているのか説明することができる。
- ・小数の加減法の仕方について考え、その解決の手順を説明することができる。
- ・小数の様々な見方や表し方を考え、説明することができる。

＜主体的に学習に取り組む態度＞

- ・小数で表すよさに気づき、進んで生活や学習に生かすことができる。

【本時の目標】ものの数の求め方を、かけ算を用いて解決できるように工夫して考え、説明することができる。			【本時の目標】 小数の仕組みや数の構成に着目し、小数について多様な見方や表し方を考え、表現することができる。		
本時の評価規準 【思・判・表】ものの数の求め方を、かけ算を用いて解決できるように工夫して考え、図などを使って説明することができる。			本時の評価規準 【思・判・表】小数の仕組みや数の構成に着目し、数直線や式を用いて、小数の多様な見方や表し方について考え、説明することができる。		
主体的な学びに向けた手立て ・話し合い活動を組み込むことで、協力して解決できるようにする。 ・チョコレートの図を使って考える際、タブレットと紙媒体の2種類を準備し、選択できるようにしておく。			主体的な学びに向けた手立て ・スプレッドシートを用いることで、他者参照をしながら協力して解決できるようにする。 ・その後の問題作りにスムーズに取り組めるように、事前に家庭で2.8がどのような数か考えさせておく。（授業と授業外学習のシームレス化）		
複式学級における個別最適な学びの実現に向けた手立て ・単元を通して、クラウドを活用する。→他者参照や協働的な学習ができるように ・児童が選択できるようにする。→紙媒体かタブレットかなど ・必要なときに必要な相手と協力して解決できるようにする。 ・それぞれの課題に応じて探究していけるようにする。					
	学習活動と主な発問（○）、児童の反応（c）、指導上の留意点（・）			学習活動と主な発問（○）、児童の反応（c）、指導上の留意点（・）	
振り返り・導入	1. 問題を知る。 問題 この中のチョコレートは、ぜんぶで何こありますか。 ○この中にチョコレートはいくつあるかな。 ・問題の図を少しずつ見せ、同じ数のまとまりに着目させ、乗法九九が適用できそうだという見通しをもたせる。 c 前の時間とは違って、空いているところがある。5×6ではだめだね。 c 数えないとだめかな。 c まとまりをつくれば、かけ算でできそう。 c 移動させたり、分けたりすれば答えを求めることができそう。			1. 問題を知る。 問題 2.8はどのような数か考えましょう。 ・事前に2.8がどんな数かスプレッドシートに書き込ませておく。（家庭学習）書き込ませたものは、児童が操作できるような短冊にしておく。 ・家庭学習の内容（2.8の表し方について）を振り返る。 ○2.8はどんな数かたくさん考えることができたね。これって一体何種類あるのかな？ ・児童が考えた表し方は、全員で視点を共有するため、仲間分けし、それぞれに題名をつける。 c 2.8は2と0.8を合わせた数です。 c 2.8は3から0.2を引いた数です。 c 2.8は1を2個、0.1を8個合わせた数です。 c 0.1を28個集めた数です。 c 2+0.8＝2.8です。 ・もし、児童から出てこない表し方があれば、こちらからヒントや考え方を提示する。 ・数直線や位取り表を使えるように準備しておく。（タブレットと紙） ・チャットにヒントを書き込んでおく。	
	2. めあてをつかむ。 めあて ●の数を計算でもとめる方法を考えよう。 3. 課題について考える。 ○●の数を計算で求めましょう。 c 分けると計算ができるよ。 3×2=6 6×3=18 6+18=24 c へこんでいるところに移動させると計算できるよ。 6×4＝24 c 空いてあるところもあるとするなら、5×6=30 2×3＝6 30-6＝24 ・考えが分かるようなチョコレートの図を準備しておく。（タブレットと紙） ・式やその考えを説明できるようにノートに書かせる。式は共有できるようにホワイトボードにも書かせ、掲示する。 ・終わった児童から、フィグジャムにヒントを書き込ませる。 ・チャットにヒントを書き込んでおく。			2. 自分たちで問題作りをする。（スプレッドシートを活用） ○2.8以外の他の小数でも、どのような数か表すことができそうですか。スプレッドシートに入り、小数を書き込んでいきましょう。また、どんな表し方ができるかノートに書きましょう。 ・多様な表し方ができることを再確認するため、1問目は全員で一緒に取り組む。 ・問題作りの際、いくつか数字を例示することで、十の位を含む小数や1よりも小さい数等の出題ができるようにする。 ・自作した問題に関しては、自分の問題を解いても、友達の問題を解いても良いようにする。 c 1より小さい0.8はどうか。 c 十の位がある12.9はどうか。 c 0.1が何個分かで表してみるよ。 c 1を何個、0.1を何個かで表すことができるよ。 c 悩んでいるところがあるから、友達に相談しよう。 c 数直線を使えば、どんな数かすぐ分かるよ。 ・困っている児童がいたら、みんなで解決するために話し合うようにする。	
まとめ	5. まとめをする。 まとめ ●の数は、分けたり動かしたりして、まとまりをつくれば、かけ算をつかって求めることができる。				
適用問題	6. 適用問題をする。 ・教科書p43に取り組む。				
	7. 振り返りをする。			3. 振り返りをする。	